

2 平成 28 年度の水質概況

平成 28 年度は、豊川水系で 6 月から 8 月にかけて降水量が少なく、貯水量が平年値以下となった期間があったが、全体としては降雨に恵まれ、原水水源の水量を確保できたため、節水となる水系はなかった。また、ダムや貯水池での藻類の増殖や降雨による原水臭気の異常等は発生したものの、通年で水質は概ね安定していた。

1) 浄水

浄水場浄水池・供給点の全地点について、省令で定める水質基準に適合していた。

2) 工業用水

全地点について、愛知県工業用水給水規程に定める水質基準に適合していた。

3) 原水及び浄水場原水

(1) 木曾川(木曾川・長良川)水系

入鹿池、愛知池及び佐布里池で春季に黄金藻類 *Uroglena americana* が増殖し、生ぐさ臭が確認された。また、入鹿池で夏季から秋季にかけて、愛知池で夏季に *Anabaena* がみられ、カビ臭が感じられた時期もあった。愛知池及び佐布里池で春季に珪藻類 *Asterionella formosa* の増殖があった。これらの藻類の増殖による浄水場原水への影響はなかった。

(2) 矢作川水系

羽布ダムで冬季に原因不明の生ぐさ臭が確認されたが、浄水場原水に影響はなかった。

(3) 豊川水系

宇連ダムで春季に、駒場池で夏季を除く全ての時季に、三ツ口池で春季と冬季に *U. americana* による生ぐさ臭が確認され、浄水場で活性炭処理を行なった。三ツ口池で春季に藍藻類 *Oscillatoria* によるカビ臭が確認されたが、浄水場原水に影響はなかった。また、冬季から春季に原因不明のカビ臭が確認され、浄水場で活性炭処理を行なった。万場調整池では春季に、緑藻類 *Closterium aciculare* が増殖したが、浄水場原水に影響はなかった。

4) 放射性物質検査

全地点で放射性物質は検出されなかった。